

「うちどく」通信～2025.10～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕



提出数（欠席）／人数

提出数（欠席）／人数

1年 11／11 ☆GOOD☆

2年 17／17 ☆GOOD☆

3年 11／14

4年 17（1）／18 ☆GOOD☆

5年 12／12 ☆GOOD☆

6年 18／19

全校 86（1）／91



1年 S・H『パパおつきさまとって』Eか 偕成社 読んだ人：お母さん 聞いた人：H

H：おつきさまは、小さくなってきえたり、おおきくなったりふしぎだなあとおもいました
お母さん：ちょうど十五夜の日に借りてきました。お月さまが小さくなって消えてしまうところから、大きくなるところは「えっ!」「あ～また大きくなるのか!!」とかかわいらしい反応をしながら聞いてくれました。

1年 S・H『はらぺこあおむし』Eか 偕成社 読んだ人：H 聞いた人：お母さん

H：あおむしがとても大きくてすごいからだをもっていました。
お母さん：保育園時代によく読んでいたので懐かしかったです。

2年 K・Y『いちにちじごく』Eよ PHP研究所 読んだ人：Y 聞いた人：お父さん

Y：このせかいにもじごくがあったらこわいなあとおもいました。
お父さん：この絵本を通して悪いことをするといいことはないんだよという事を教えてくれているような気がしました。

2年 Y・K『ずーっとずっとだいすきだよ』Eひ 評論社 読んだ人：K 聞いた人：お母さん

K：エルフィー（犬）が、としをとってしんでしまいました。エルフィーがしんでしまってぼくがさみしそうでかわいそうでした。
お母さん：自分が思っている気持ちはちゃんと伝えることが大事だねと話しました。

3年 S・T『バムとケロのもりのこや』Eし 文溪堂 読んだ人：T 聞いた人：お母さん

T：小屋の中のごみをちゃんとそうじしてぴかぴかにしてすごいなあとおもいました。
お母さん：「みんなでほしをみるかい」というところがたのしそうだなあとおもいました。おもちゃや森の草木の絵が細かくて絵を見ているだけでも楽しめました。

3年 Y・M『ぼくはいつだってどこにいるんだ』Eよ ブロンズ新社 読んだ人・聞いた人：お父さんとM

M：すごい量の地図を思いついてすごいと思いました。
お母さん：宇宙から自分を探そうとしても、とても小さくてどこにいるのか全然わからないけど、いろんな規模の地図を使うと自分の入る場所、そして社会的な立ち位置までわかる事を教えてくれました。地図を通して、自分を見つめなおすことができました。

4年 T・H『もっと！とにかくかわいいいきもの図鑑』48シ 西東社 読んだ人：H 聞いた人：お父さん

H：りゅうきゅうあおいがいの形がハート型ということを知れて良かったです。
お父さん：リュウキュウアオイガイという貝をこの本で知りました。その貝はハートの形をしていてピンクや白紫や黄色など色とりどりの種類があります。そしてなんとトゲもあるそうです。私はそこそこ歳をとっていますが、知らなかった事はまだまだ沢山あるみたいです。

4年 N・S『おとうさんのちず』Eし あすなろ書房 読んだ人：S 聞いた人：お母さん

S：この本はさいしょ地図を買ったお父さんにおこっていたけど、結局いいことがあって、お父さんを許してあげたことがよかったと思いました。
お母さん：一枚の地図から色々な想像をして世界中を飛び回れる主人公は心が綺麗なんだと思いました。その後幸せに暮らせたことを願います。

5年 T・S『100かいだてのいえ』Eい偕成社 読んだ人：S 聞いた人：お母さん

S：とてもロマンがあるはなしでおもしろい本でした。
お母さん：この100かいだての家の最上階の人が虫だということがわかりました。

5年 T・N『カボちゃんのおおそうじ』913タ理論社 読んだ人：N 聞いた：お母さん

N：みんなで協力するとこんなに学校はきれいになって、みんなが気持ちよく学校に行けるんだなあとおもいました。スポーツ大会もみんなで協力して楽しいスポーツ大会にしたいです。
お母さん：一つのことをクラスみんなで協力して成し遂げる。このことを教えてくれた本でした。10月18日の運動会もみんなで協力して楽しく一つのことを成し遂げてほしいなと思いました。

6年 H・H『はたらく細胞』49シ 講談社 読んだ人：H 聞いた人：お母さん

H：制御性T細胞はT細胞の暴走を抑える仕事があることがわかりました。詳しく知ることができて良かったです。
お母さん：この本を読んで身体の仕組みや名称を覚えて色々なことに興味をもって、将来の夢に繋げてくれたらいいなあとおもいました。大人も楽しみながら読める本でした。

6年 K・A『渋沢栄一 日本経済の父と呼ばれた男』28シ 小学館

読んだ人：A 聞いた人：お母さん

A：いろいろなことに挑戦してあきらめずにがんばる心、その心をととても尊敬します。その心が日本経済を作ったのだと思いました。
お母さん：農民出身でしたが、勉強し、自分の考えを信じ、一橋慶喜に仕え武士になり、フランスで世界を見て、帰国後は新政府で働き、辞めてからは銀行や色々な会社を作った人の伝記でした。自分で枠を決めず良いと思ったことに取り組む姿勢はすごいなと思いました。子どもたちにも、やりたいと思ったことはどんどん挑戦してほしいなと思います。